

地域密着型サービス事業所の自己評価項目（自己評価結果表）

（調査項目の構成）

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を生かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
 - (1) 一人ひとりの尊重
 - (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援
 - (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援
 - (4) 安心と安全を支える支援
 - (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり
 - (1) 居心地のよい環境づくり
 - (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり

V. サービスの成果

※記入方法

- 管理者が介護従業者等と協議し記入すること。
- グループホームの場合は、ユニットごとにその管理者が介護従業者等と協議し記入すること。
- 取り組みの事実を実施している内容、実施していない内容の両面から記入すること。
- 取り組んでいきたい項目に○を記入し、すでに取り組んでいることも含めて、取り組んでいきたい内容を記入すること。
- サービスの成果は取り組みの成果に該当するものを○印で囲むこと。

※項目番号について

- 評価項目は、100項目です。

事業所名 グループホーム サンライズ

ユニット名 空

自己評価実施年月日 平成 20 年 12 月 16 日

記録者氏名 中越 美穂

記録年月日 平成 20 年 11 月 25 日

(様式1)

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	今までの理念を継続し、住み慣れた地域で安心して暮らし、施設だからといってボランティアを受けるだけでなく利用者、職員が地区清掃や踊りの発表会等に積極的に参加し、こちらからもボランティアをしている。	○ 花見、月見、地区清掃、忘年会、もちつきと地区の交流をたくさん盛り込んでいる。利用者も地区の一員として月1回以上地区清掃をしている。地区の皆様に施設を100%公開している。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を掲示しており、各自が理念の実現に取り組んでいる。考え方、行動が地域の一員になっているか、利用者が一番になっているか声を掛け合っている。	○ これからも継続して取り組んでいきたい。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	運営推進会議や家族会、町内会の会合など折に触れて事業所の実践を伝えるようにしている。	○ 地域に出て行く機会を多く持ち、関わりを持つ事で自然に理解も得られると思う。その都度理念を理解していただけるよう努めていく。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	入居者の名前を覚えてくれており、散歩していると話しかけてくれる。近所から野菜を頂いたり、メダカや花を見に来たり、近隣に住む人たちと触れ合う機会が多い。	○ ホームでの行事には近所の方が参加され利用者と食事を共にする。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会にも入っており、地区のイベントや行事に参加して馴染みがある。町内ふれあいセンターの催し物にはできるだけ参加しており、そこからボランティアの意向もして頂いている。保育園とも交流もしている。三宝荘の知り合いも増えた。地域の清掃もしている。	○ これからも積極的に地域行事に参加していきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	○	<p>当ホームの催し物には近所のお年寄りも招待し、一緒に楽しめるよう日々親しくお付き合いをしている。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	○	<p>毎回の評価を通して全員で現状を振り返り見直しをしている。</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	○	<p>参加している人達から多くの率直な意見を聞き、改善に向けた具体的な取り組みにつなげていきたい。</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	○	<p>機会ある毎に相談しながら連携を密にしていく。</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	○	<p>内外部の学習、研修の機会を設けて更に理解を深めていく。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	○	<p>職員は虐待を正しく理解し、お互いに入居者の権利が守られるように注意し、防止に努めている。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>時間をとって丁寧に分かりやすい言葉で十分な説明を行い、理解同意を得ている。</p>	○	<p>これからも継続して取組んでいきたい。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>担当制をとっており、担当者職員は細かく利用者の言葉や態度をみながら、その思いを察する努力をして、利用者本位の運営を心がけている。</p>	○	<p>運営推進会議や地区の催し物にも参加し、外部の人に意見や思いを伝えられる機会作りをしている。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>毎月担当職員から『空と大地』の家族便りで現在の報告をし、行事の写真も同封している。</p>	○	<p>内容の充実を考えながら継続していく。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会や家族会の時に話しやすい雰囲気作りに努め、出された意見、需要などは即対応している。</p>	○	<p>意見・苦情は当ホームにとって大切な宝であり、外部者の意見や苦情等を前向きに受け止め、活かしていくように努めている。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月2回のスタッフ会で意見や提案が出せる様努め、日頃からコミュニケーションを図るよう心がけている。</p>	○	<p>職員会ではざっくばらんに話しができています。</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>利用者の状況に配慮し、職員の増員や調整をし、管理者は通常のシフトに入れていない為、夜間の対応や利用者の状態の変化に応じた柔軟な体制がとれている。</p>	○	<p>状況に応じた対応ができるような体制をとっている。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者と職員の馴染みの関係はとても大事な事なので、各ユニットの職員を固定化し、顔馴染みの職員によるケアを心がけている。	○	利用者と職員の馴染みの関係は、とても大切な事なので、職員の配置・異動は極力しないようにしている。
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修にはなるべく多くの職員が受講できるように、研修に合わせた勤務表も作り継続している。職員会で伝達講習をして意見の交換もしている。	○	これからも継続して続けていきたい。
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他のグループホームに見学に行ったり、情報交換もしている。グループホーム連絡会にも入っており、東部のグループホームの会合や、研修会には積極的に参加している。	○	持続した交流を続け、サービスの質の向上に努めている。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	日常や面接時に職員のストレスや悩みを把握するよう努めている。職員同士で出掛けリフレッシュできるよう努めている。	○	職員の変化に気をつけ、早急な対応を心がけている。
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	運営者は毎日現場に来ており、利用者とは過ごしたり、職員の業務や悩みを把握している。又職員が向上心を持って働けるよう、資格を取る為の勉強会への参加も支援し、職能評価を行っている。	○	これからも継続して続けていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居決定までの間に本人に面会に何度も管理者2人で行き、本人自身から話しを聞き、希望に沿う努力をしている。	○	これからも継続していきたい。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ケアマネージャーの方を含め、家族と面接し、御家族が求めているものを理解し事業所としてはどのように対応できるか事前に話し合いをしている。	○	相談する家族の立場に立ってその家族の話をしっかり聞き、受け止めながら関係を築くよう努めている。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時本人や家族の思い、状況を確認し、その思いを大切に、改善に向けた取り組みをしている。	○	これからも継続して取組んでいきたい。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人や家族が当ホームを見学してもらう事から始め、本人に遊びにきてもらったりする事を繰り返しながら、当ホームでの生活が安定するよう努めている。	○	これからも継続していきたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者は人生の先輩であるという考えを職員が共有しており、普段から利用者に教えてもらうことが多い。	○	利用者さんの得意分野を把握して職員に教えていただけるようにしている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	職員は家族の思いを理解するよう努め、日々の暮らしの出来事や気付きの共有に努め、本人と一緒に支える為に家族と同じ思いで支援している事を伝えている。	○	本人の生活を共に支援していく対等な関係を築いていけるように努めている。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人と家族の歴史にも気を配り、両者に負担にならないように努め、両者の思いが良い方向付けできるよう努めている。	○	職員は、あくまでも本人と家族の支援者であり、これまでの両者の関係を踏まえつつ、今後のより良い関係を築くよう努めている。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入所前から利用している美容院に続いて行ったり、自宅訪問時近所の人達に訪ねて来てもらい、関係が途切れないようにしている。	○	本人がこれまで培ってきた人間関係や社会との関係を把握し、その関係が続けられるような場面を積極的につくっている。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	仲の良い入居者同士が隣同士に座れるように配慮したり、誰とでも仲良くできるよう全員で外出したり支援している。手をつないで歩いているところもよく見かける。健常な利用者を頼りに思いお互い支え合っている。	○	利用者間でのコミュニケーションにおいて良い関係作りができるよう努めている。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所された後も家族とも関係を大切にしている。葬式、法事などにも必ず出席している。又入院時にも見舞いによく行っている。	○	これからも継続していきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者個々の思いを担当職員を通じて確認している。意思疎通が困難な方には表情や態度から思いがくみとれるように努めている。	○	職員全員が一人一人の思いや意向を把握できるように細心の注意を払い支援に努めている。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の面談時に本人や家族から今までの生活歴を聞き取るようにしている。入居後も折りに触れ、ご本人やご家族にどんな生活をしてきたのかを聴いている。	○	一人一人の利用者についての生活歴やライフスタイル、個性や価値観を把握し、ケアプランに生かしている。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	利用者一人一人の生活リズムを理解する様に努めている。担当職員はこと細かく担当利用者の事を把握し、情報を全職員に伝え、総合的に把握するように努めている。	○	担当職員と情報交換し、日々の中でチームとして総合的に把握するよう努めている。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族には日頃の便りの中で思いや意見を聞き、それらを使ってアセスメントしている。担当職員がアセスメントし、皆でカンファレンスを行っている。	○	本人や家族、職員で気付きやアイデアを出し合い、話し合った結果をもとに介護計画を作っている。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月毎に立て直しをしている。毎日ケアプランチェックし、状態により加えたり修正をしたりしている。	○	これからも継続していきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	○	これからも継続して取り組んでいきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	○	本人の暮らしを守る為にその時々々に必要な支援を柔軟に行っている。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	○	これからも継続して取り組んでいきたい。
41	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	○	本人の生活をより総合的に支援する為に、他のサービスの利用も今以上に考えていきたい。
42	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	○	より一層充実に向け取り組む。意見、情報を活かし運営に反映していく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	○	これからも継続して取り組んでいきたい。
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	○	これからも継続していく。
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	○	1週間に1回、全員が訪問看護を受けており、その度に細かく指導、相談に乗ってもらっている。
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	○	病院に対して入院の目的を早く達成してもらえるよう話し合い、なるべく混乱が少ないよう本人の情報を詳しく伝えている。
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	重度化もあり、本人、家族、医師、職員と話し合いを繰り返しながら、対応方針の共有を図っている。
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	すでに2組の看取りをしており、これからも安心して最期を迎えられるよう努めていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	環境が変わってもこれまでの暮らしの継続性が損なわれないようにできるかぎりの情報を提供し、きめ細かい連携を心がけている。	○	これからも継続して取組んでいきたい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員会等で話す機会を持ち、プライバシーについて再確認し、利用者の誇りやプライバシーを損ねない対応の徹底を図っている。	○	職員会で、プライバシー確保について具体的に確認しあっている。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	さりげなく会話の中で希望を聞ける様に努め、いくつもの選択肢を提案して一人一人の利用者が自分で決める場面をつくっている。買い物、ドライブ等は利用者の要望で行っている。	○	おやつ等飲み物を提供する時は、2つの中から選べるような声かけをし、どっちか選べるように声かけしている。食事の献立や外食のオーダーも入居者が選ぶ様に働きかけている。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れはあるが、それにとらわれず一人一人の体調に配慮しながら、本人の希望に沿った個性のある支援を行っている。入浴、居室での食事、起床、入床等は自由になっている。	○	利用者の「その日」にしたい事に対応するよう努めている。(買い物、受診、自宅へ)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	外出時希望の人は職員が化粧を手伝い、好みのバッグを持っていく。男性はジャケット、スーツで外食に行ったりする。行きつけの理美容室を利用している。カット、染めは希望により全員違っている。	○	いつもくしをポケットに持つ方のこだわりを大事にしている。 本人馴染みの散髪屋で予約を取り、毎月出かけている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	必ず職員も利用者と一緒にのテーブルで同じ食事を する事を大切に考え取り組んでいる。
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	○	お酒の好きな人を囲んでの晩酌会やたばこについ ては、他利用者の迷惑にならないよう喫煙室で、 職員と一緒に吸っている。
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	○	一人一人のサインを全職員が把握し、さりげなく 誘導支援している。
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	○	入所前の習慣を大切に、一番風呂、就寝前の風呂 等本人の希望に沿った対応をしている。
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	○	1日のリズムができていて夜もよく眠れている。 日中は起きていて散歩や運動をしている。夜眠れ ない時には温かい飲み物を飲みながらおしゃべり する等配慮している。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	○	漬け物を漬ける事が得意な人、園芸に詳しい人、 各々に活躍してもらい、感謝と労いの言葉を伝えて いる。


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自分の財布を持ち買い物をする人もいる。スーパーのレジは、お金は自分で払っていただけるようにお金を手渡す等の工夫をしている。	○	買い物に行きレジでは自分で財布から出して支払いをしている。買い物を頼まれて本人の財布から金を渡してもらい、釣り銭を返している。管理の困難な方には、お金を渡し自分でレジを通るようにしている。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人一人の習慣や楽しみ事に合わせて、喫茶店や自宅、催し物、外食、散歩、弁当を持って外へ出掛けている。	○	1ヶ月に1度の外食、毎日の散歩、又、1ヶ月に1回は担当職員と個別で利用者の行きたい所へ出掛けている。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	故郷訪問（自宅訪問）など、利用者の思いが出された時は、実施する為の方策を職員同士で検討し支援に繋げている。	○	一泊で故郷訪問した事もあり、これからも数多くチャレンジしていきたい。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	遠方の家族からは時々電話があったり、本人からも気楽に電話できる雰囲気作りをしている。又、年賀状も毎年出す様支援している。	○	一人一人の手紙や電話の習慣を大切に、外部との交流を支援している。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでもオープンにしており、気軽に来やすい雰囲気作りを心がけている。訪問時間は決めておらず、早朝の訪問や深夜の訪問もあるが、いつでも訪ねて来ていただけるような配慮をしている。	○	本人の馴染みの人達が、気軽に訪ねやすい雰囲気作りを心がけている。その都度お茶や飲み物を出している。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしていない。身体拘束に関する研修会にも参加し、職員の共有認識を図っている。	○	「どんな事があっても拘束は行わない」という姿勢で取り組んでいる。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	○	町内の方々も利用者の顔を覚えており、一人外出時には、声かけ見守りし、連絡してもらえるような関係ができています。
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	○	昼夜共に職員が見守りやすい位置にいて、利用者の様子を察知できるよう努めている。
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	○	グループホームは暮らしの場であることから、洗剤やハサミなど利用者の身近に置かれている事は自然であり、すべて排除するのではなく、利用者の状態を十分に把握しながら危険を防ぐための検討や工夫をしている。
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	○	これからも継続して取り組んでいきたい。
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	○	蘇生術の研修を全員受けるように工夫調整している。
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	○	災害防火訓練時、町内会の人達にも参加してもらえるよう働きかけていく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	日々の生活の中で、力の発揮や抑制感のない暮らしが利用者の表情を明るくし、むしろ行動の障害を少なくしている事を御家族に見てもらったり、具体的に説明している。	○	予測されるリスクがあっても、その人らしい人生を送る為家族と率直に話し合い、ケアプランにも入れている。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	少しでも普段と違う様子があれば、バイタルチェックを行い、変化に対応している。情報は職員間で共有し、状況により医療受診につなげている。	○	一人一人の普段の様子をよく知り常に変化や異常の発見に努めている。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋のコピーを各個人の薬の袋に入れ、職員が内容を把握できるようにしている。服薬時は本人に手渡し、きちんと服薬できているかを確認している。	○	少しの変化も見逃さずに主治医と訪問看護に説明を聞き、副作用についても知識を深めている。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	繊維質の多い食材や乳製品を多くとりいれている。毎日の散歩や家事活動等身体を動かす機会を多くして、自然排便できるよう取り組んでいる。	○	便秘予防について、食事やおやつの食材やメニューの工夫をしている。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケアの重要性を職員全員理解している。毎食後の口腔ケアの声かけを行い、その方の力に応じて職員が見守ったり介助を行っている。	○	長年の本人の習慣を大事にしている。夜間口腔ケア後、入れ歯を外す人と入れたままの人各々に対応している。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1月のメニューを記録しバランスを考えている。水分については、お茶の時間以外も運動、外出の帰り、入浴後等摂取している。体調不良時は、記録と伝達をしている。定期的に管理栄養士の専門的なアドバイスももらっている。	○	献立表を作り、栄養的バランスを考えて取り組んでいる。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	ホーム内で起こり得る感染症についてマニュアルを作成しており、予防、対策に努めている。食事前には全員手の消毒をし、タオルは使わずペーパータオルを使用している。利用者及び家族に同意していただき、職員共にインフルエンザ接種を受けている。	○	研修や勉強会で理解を深める機会を多くとっている。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食器は、フキンを使わず乾燥機で乾かし、冷蔵庫もまめに点検、清掃している。新鮮で安全な食材を使用する為、毎日買い物に出掛け買い溜めしないようにしている。	○	現状を徹底していく。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関や建物の外周には季節の花を植え、利用者や家族、外来者の方が和めるよう配慮している。玄関ソファには誰かがいる。玄関入り口には、ジョロや掃除道具がある。普段の民家に近づく努力をしている。	○	玄関には季節の花が咲き、メダカも泳いでおり、利用者や家族、地域の人達に安堵感を持ってもらうよう努めている。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	茶碗を洗う音、ご飯の炊ける匂い、心地よい音楽、ゆず湯、鍋料理、晩酌など、五感や季節感を意識的に取り入れる工夫をしている。壁面の飾りも季節感を採り入れ幼稚にならないよう気を付けている。	○	色、光、匂い、味、空気の流れ等、五感刺激へ配慮し、共同空間が個々の利用者の心地よい場所になるよう気をつけている。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下やホールにいくつかのくつろぎの場所を用意して、イス、ソファには気の合う入居者が座り話をしている。	○	喫煙希望者は、他の利用者に配慮した別の部屋で職員と一緒におしゃべりしながらタバコを吸い、唯一の楽しみになっている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	各々の利用者が馴染みのタンスや写真や使い慣 れた日用品、仏壇など今まで使っていたものを持 ってきて、今まで暮らしていた状態を継続するよ うに工夫している。	○	入居前に、御家族、御本人にお話をして、使い慣 れた馴染みの物をたくさん持ってきて頂き、その 人らしく過ごせる居室になるように努めている。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	居室、利用者のいない時のホールはいつも換気し ている。外気との温度差にも注意し、温度計と利 用者の様子を見ながら調整している。	○	空気の入れ換えや温度調節について職員は常に意 識していて温度調節をこまめに行っている。又、 換気扇も新しく増やし対応している。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	利用者の状態に合わせて物干しの高さ、手すりや 浴室、トイレ、廊下などの居住環境が適してい るかを見直し、安全確保と自立への配慮をしてい る。	○	身体機能の変化等に考慮し、注意深く観察し対応 している。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	本人にとって「何がわかりにくいのか」「どうし たら本人の力でやっていただけるか」を考え、状 況に合わせて環境整備に努め、利用者の立場に 立った環境づくりを心がけている。	○	各々の場所の表示や居室の表札等、利用者の目線 にして、分かりやすくしている。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	ベランダでは利用者が花を育て、建物の外回り には季節の花が咲き、ベンチも用意して日向ぼっ こができるよう工夫している。玄関には、ほうき、 チリ取り、ジョロ道具があり、すぐに活動でき るような環境を作っている。	○	これからも取り組みを継続していく。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input checked="" type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・個別ケアに力を入れています。入居者担当を決めて、行きたい所や買い物をしたい等、細やかな対応をしています。
- ・御本人や家族の希望があれば入居まで掛かっていた主治医を変えずに、ずっと職員が付き添い受診します。
- ・週4回のホームドクター往診と、訪問看護を週2回受け、健康管理を綿密に報告、連絡、相談ができています。
- ・町内会にも入っており、地区のイベントや行事(花見、月見、忘年会、餅つき、地区清掃)にも参加、地区との交流が盛んです。
- ・月1回の外食、季節の行事やドライブ、その他頻繁に出掛けたり、ボランティアの方々による舞踊やレクレーションと行動的です。
- ・年に2回は管理栄養士にメニュー表を見ていただき、カロリー計算をして指導を受けています。
- ・ボランティアの方に来ていただき、毎月室内ペタンクをして体力維持に努めています。